

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

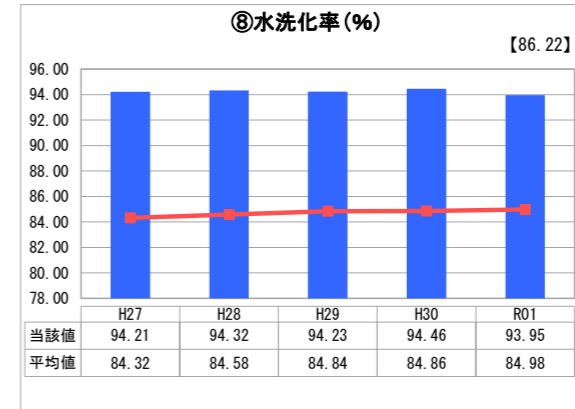
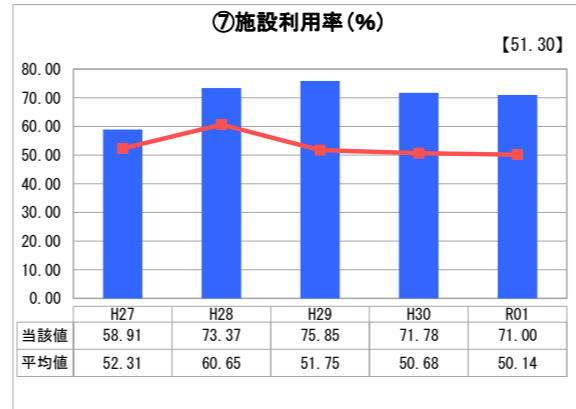
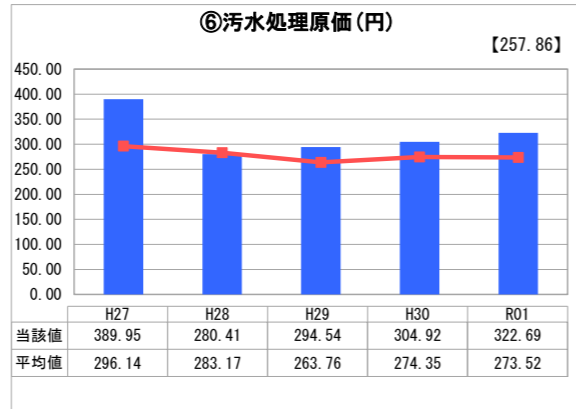
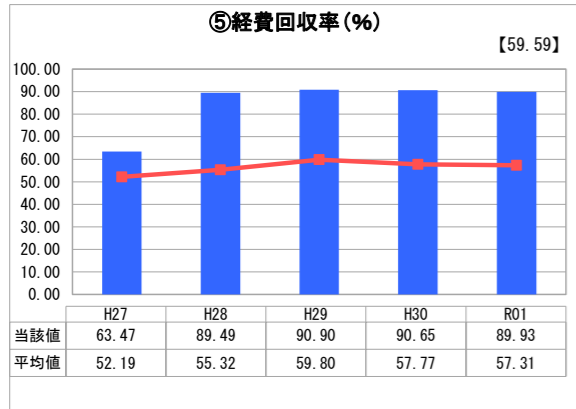
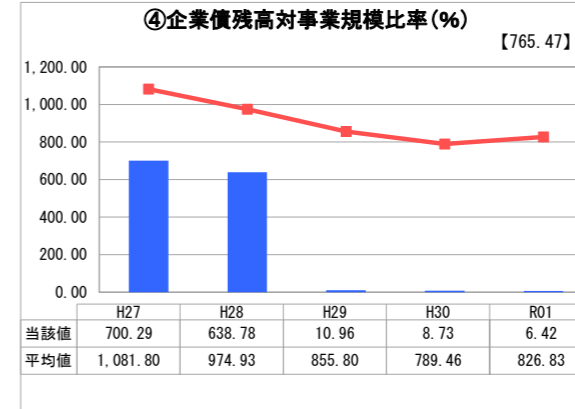
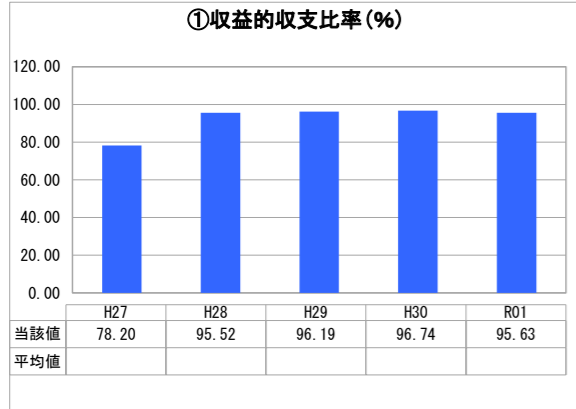
福井県 大野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.73	54.84	4,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,902	872.43	37.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,465	4.23	1,528.37

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率、⑤経費回収率について、令和元年度は一処理区で料金改定を行ったものの、維持管理費の増加により比率の減少となった。今後も使用人口の減少による料金収入の低下及び施設老朽化による維持管理費の増加が見込まれるため、使用料金の見直し及び費用削減といった経営改善への取り組みを進めていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率は、平成24年度以降新たな地方債を発行していないため、減少となった。平成29年度以降の数値の大幅な低下は、算定基準に変更があったためである。

⑥汚水処理原価については、前年度に比べ上昇となった。この要因として、人口減少による年間有収水量の低下及び施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が考えられる。そのため、必要に応じ施設の更新を行うなど維持管理費の削減に努める。

⑦施設利用率については、類似団体平均値に比べ高くなっているが、人口減少の影響により減少傾向にある。将来的にもこの傾向は続くと考えられるため、施設規模の見直しといった対策を検討する必要がある。

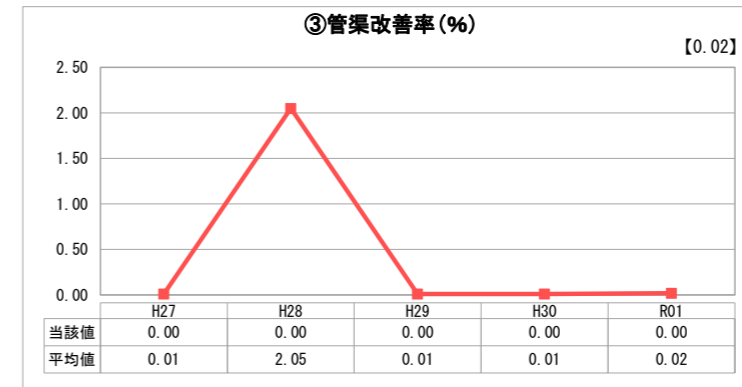
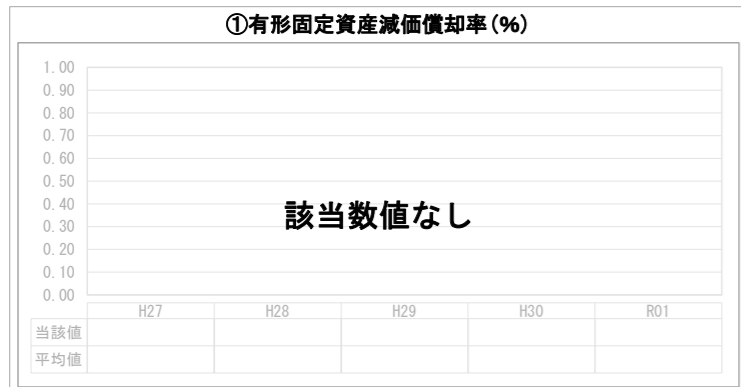
⑧水洗化率については、前年度から微減となったものの、類似団体平均値を大きく上回っている。この要因として、本市は処理施設の建設時から地元が中心となって事業を進めており、地元の積極的な未接続者への加入促進があったためと考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

本市農業集落排水事業は平成3年度から順次供用開始しており、処理場の建造物及び管渠の耐用年数に問題はない。しかし、処理場内部の電気機器等は耐用年数を超えたものもあり、今後さらなる老朽化が進むことを鑑みると、修繕等の維持管理費の更なる増大が予想される。

令和元年度には平成28年度から平成30年度にかけて行った機能診断を基に各施設の最適整備構想を作成した。今後は、最適整備構想を参考として施設の適正な維持管理に努めていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や人口減少による使用料金の減少を考慮すると、今後経営状況はより厳しいものになることが予想される。そうした状況の中で、将来の施設維持管理や更新計画を盛り込んだ最適整備構想のもと、長期的かつ広い視野で施設更新に努めていく必要がある。

また、こうした状況を踏まえたうえで、定期的な使用料金改定を行い、料金収入を改善したうえで、より健全な運営を行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。